

「八王子北高校、服のちからプロジェクト」



東京都立八王子北高等学校 土方 敏行

「八王子北高校、服のちからプロジェクト」の流れ

- 平成24年3月 ・教育庁地域教育支援部生涯学習課より平成24年度「企業と連携した社会貢献活動にかかわる学習支援プログラム(ユニクロ)」実施校の募集要項を受理。
※ユニクロの「全商品リサイクル活動」[衣料を国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) の協力を得て難民キャンプに贈る活動]を中心とした学習支援プログラム
- 平成24年4月 ・上記プログラムが本校1学年「奉仕」における後期(10月以降)の取り組みにふさわしい内容(地域連携と国際貢献活動)と判断し応募する。
- 平成24年5月 ・平成24年度「企業と連携した社会貢献活動にかかわる学習支援プログラム(ユニクロ)」事業説明会に参加。
- 平成24年7月 ・実施校としての決定を受け、今後のスケジュールについて生涯学習課学校支援係(増田容子氏)およびユニクロCSR部(鈴木翔子氏)との調整を開始。
・ユニクロCSR部による生徒向けオリエンテーションを10月10日に実施することで合意。
- 平成24年8月 ・増田氏のご尽力によりUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)のスタッフ1名が10/10に来校し動機付けとして難民についてお話しをしてくださることに。
・上記UNHCRスタッフの方が急な海外派遣のため来校不能に。代わりにUNHCRのボランティア団体「J-FUNユース」の学生5名が来校してくださることに。
- 平成24年9月 ・地域からの衣服回収について地元町会(自治会)、近隣小中学校、近隣保育園等に協力要請をする方向で検討を開始。
- 平成24年10月 ・副校長より地域および異年齢交流の好機として近隣小中学校との連携を主軸にしたらどうかという提案があり検討を開始。
・検討の結果、連携先を本校近隣の小学校5校とし、副校長に各小学校への打診を依頼。地元町会等への協力要請については今回は見送ることに。
・近隣の4小学校(松枝小、陶鎔小、川口小、櫛原小)より協力可能との回答をいただく。
・プロジェクト名を「八王子北高校、服のちからプロジェクト」とし、上記4小学校へ改めて依頼状を送付。
・ユニクロCSR部(鈴木翔子氏)による全体オリエンテーションを体育館で、続いてJ-FUNユースメンバー5名による特別授業を各教室で実施。毎日新聞の取材が入る。
- 平成24年11月 ・副校長とともに各小学校に出向き、プロジェクトの概要および訪問希望日について説明を行う。
・各小学校からの回答をもとに生徒訪問日を12/20(木)に決定。訪問時間帯については各小学校の意向に沿わせていただくことに。
・公開抽選により各クラスの担当小学校を決定。各クラスを7～8班に分け担当学級を決定。
・班単位で訪問準備を開始(担当学年に応じたプレゼン内容の検討とポスターおよび衣服回収箱の作成)。
- 平成24年12月 ・各小学校に保護者向けプリントの配布を依頼。
・プレゼンの予行演習とポスターおよび衣服回収箱の完成。
・クラスごとに小学校訪問を実施(本プロジェクトに関するプレゼンの実施とポスター掲示および衣服回収箱の設置)。
- 平成25年1月 ・本校全学年(全職員)への呼びかけを行ない校内回収を実施。
・集まった衣服を各小学校から回収(衣服回収箱の撤収を含む)。
・学年生徒全員による選別作業と指定のダンボール箱への梱包作業(体育館にて)。
・第1便として21箱(394kg)を発送。 ※当初目標は300kg。
・第2便として38箱(698kg)を発送。 ※校内回収分および近隣の保育園、老人福祉施設、一般協力者からの分を含む。
- 平成25年2月 ・最終便として8箱(122kg)を発送。総計67箱(1214kg)を達成。
・班単位でお礼用のポスターを作成し各小学校(各学級)へお届けする。
・ユニクロCSR部より送り先の第一候補がリベリア(アフリカ)の難民キャンプ(コートジボアール難民)であるとの情報を入手。
・各小学校にお礼用の保護者向けプリントの配布を依頼。 ※校内ほか他の協力者の方々にもお礼の文書を送付。
・各クラスにてまとめと振り返り(感想文)を実施。感想文(抜粋)を学年便り等に掲載する。

都立高等学校長殿
都立中等教育学校長殿

教育庁地域教育支援部生涯学習課長
渋谷 恵美
(公 印 省 略)

平成24年度「企業と連携した社会貢献活動にかかわる学習支援プログラム（ユニクロ）」
実施校の募集について（通知）

東京都教育委員会では、教育行政と企業・大学・NPO等とが連携・協力して教育支援活動を行う「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」（事務局：東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課）の取組として、企業の社会貢献活動と都立高校等とをつなぐ事業を実施しております。

この事業の一環として、平成21年度から表記事業を都立高校で実施しておりますが、下記の要領で平成24年度の実施校を募集いたします。

記

- 1 件 名
平成24年度「企業と連携した社会貢献活動にかかわる学習支援プログラム（ユニクロ）」
- 2 事業主体
地域教育推進ネットワーク東京都協議会「都立学校支援部会」及び東京都教育委員会
- 3 協力企業名
ユニクロ（株式会社ファーストリテイリング）
- 4 実施時期
実施校を対象に、4月にユニクロ本社（六本木）で説明会を開催し、各校の実施内容について調整しますので、授業の実施は6月下旬以降となります。
- 5 募集校数
都立高等学校及び中等教育学校 5～10校
（希望が多い場合は、書類審査等を経て都教育委員会が決定します）
- 6 プログラム内容
ユニクロの「全商品リサイクル活動」（衣料を国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の協力を得て難民キャンプに寄贈する活動）を中心とした学習支援プログラムです。
これまでの実施例は、別紙1を参照してください。

企業と連携した社会貢献活動にかかわる学習支援プログラム(ユニクロ) 実施例

これまでに実施した複数の高校の事例を参考に作成しています

■『全商品リサイクル活動』 基本的な流れ

内容		具体的な活動例	活動のポイント
事前学習	・全商品リサイクル活動について ・難民について		・社会貢献、国際貢献の意義を学ぶ ・国際理解 ・消費社会と環境について学ぶ 等
ワーク ショップ1	自分たちにできることの話 し合い、 日程、内容、担当決め	・全クラスで同じ活動を行う ・クラス横断した係分担で行う ・生徒会活動として実施	・企画力、コミュニケーション力等の育成 ・人間関係の構築 等
ワーク ショップ2	広報	・ポスター等を作成して掲示 ・地域の掲示板への掲示依頼 ・地域の施設にポスターの掲示 を依頼	・地域との交流 ・コミュニケーション力の育成 等
ワーク ショップ3	回収	・文化祭等の回収する日程を事 前に周知し、校門の横や教室で 回収 ・期間を決めた校内での回収と ともに、地域の幼稚園や施設等 に回収箱を設置してもらい、生 徒が受け取りに行く。	・作業の体験 ※ユニクロから全商品リサイクル活動や 難民についてのパネル貸し出し可能 
ワーク ショップ4	選別、発送作業	・衣類の状況、性別・季節等で 分類 (痛んだ衣料は、繊維素材として リサイクルします) ・難民キャンプへの発送準備	・作業の体験 (作業の効率化、丁寧さ、選別の判断 等) ※送料はユニクロ が負担 
ワーク ショップ5	協力者への報告作成	・校内と校門前に掲示 ・回収の協力者に渡す 等	・結果報告等、プレゼン力をつける ・礼儀(協力者への感謝、お礼) 等

■その他(高校からの提案で上記のプログラムに追加して実施)

ビジネスコミュニケーション科、課題研究NPO系の授業で、ユニクロがバングラデシュで実施しているソーシャルビジネスを紹介。ユニクロの商品開発の提案をテーマに、少人数のグループで話し合い、発表。

ユニクロの全商品リサイクル活動については、下記をご覧ください

- ファーストリテイリング CSRレポート 2012

<http://www.fastretailing.com/jp/csr/report/> 26～27ページ

- 服のチカラ Vol.7 http://www.uniqlo.com/power_of_clothes/vol7/

平成24年度
 企業と連携した社会貢献活動にかかわる学習支援プログラム(ユニクロ) 応募用紙

学校名	都立八王子北高等学校(課程:全日制)
担当者職・氏名	主幹教諭(学年主任) 土方 敏行
電話番号	042-626-3787

以下について、現時点で希望する内容、予定期間等について記入をお願いします。

対象	<input checked="" type="checkbox"/> 学年 1学年(200名 5クラス)
	<input type="checkbox"/> 生徒会活動
	<input type="checkbox"/> 部活動 ()
	<input type="checkbox"/> その他 ()

導入する教科等	<input checked="" type="checkbox"/> 教科「奉仕」 <input type="checkbox"/> その他 ()
---------	--

実施を希望する期間 (事前学習～報告終了)	10月～ 3月
--------------------------	---------

衣料回収期間	<input type="checkbox"/> 文化祭(月) <input checked="" type="checkbox"/> その他(10月～ 12月)
--------	---

実施したい内容	全商品リサイクル活動(実施例に準じたもの)をメインテーマとして、奉仕体験活動や社会貢献活動の意義や具体的な方法について学び、グループを単位として実際にその活動を実践(体験)する。
	衣料回収を呼びかける範囲 <input checked="" type="checkbox"/> 校内 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の学校や施設 <input type="checkbox"/> その他(家族やご近所など)

以上のとおり、申込みます。

平成24年3月29日
 東京都立八王子北高等学校長
 氏名 馬場 寿

「難民とは？」授業の感想

あなたの意見を聞かせてください。

(1) 日本にバルタン星人がやってきたら？

みなさん、バルタン星人がどうして地球にやってきたか知っていますか？

バルタン星人が宇宙旅行をしている時に、彼の故郷であるバルタン星で、ある一人の博士が核実験に失敗してしまいバルタン星が爆発してなくなってしまいました。帰るところがなくなったバルタン星人は、必死の思いで地球にやってきたのです。

さて、ここで考えてみましょう。あなたは地球防衛軍の一員です。あなたはこのバルタン星人を発見しました。すると、バルタン星人はあなたにテレパシーで話しかけてきて、「この地球に住ませてください！」と言ってきました。あなたはどうしますか。

(2) 今日の授業はわかりやすかったですか？

5段階評価であてはまる数に○をつけてください。

(1とてもわかりにくかった ～ 5とてもわかりやすかった)

1 2 3 4 5

(3) 今日の授業の感想や、その他聞いてみたいこと

ご協力ありがとうございました。

「八王子北高校、服のちからプロジェクト」概要

学校名	ときょうとりつはちおうじきたこうとうがっこう 東京都立八王子北高等学校
担当者	ひじかたとしゆき 土方 敏行
教科	奉仕(総合的な学習の時間/八王子北高校、服のちからプロジェクト)

《出張授業》

出張授業	10月10日(水)・13時20分～15時10分
対象	1年生(199名)
枠組み	授業(奉仕)
コメント	ユニクロ、鈴木さん(服のチカラプロジェクト)とJ-FUNユースボランティア(世界の難民)による出前授業(計2時間)。

《告知》

告知期間	11月～12月
告知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校保護者/教員⇒11月(学校便り等)、12月(保護者会または学級にて保護者向け文書を配布)。 ・小学校児童⇒本校生徒による学級訪問(プレゼン・ポスター掲示・飾り付け済み回収箱の設置)。 ・地域の老人介護施設⇒先方担当者に一任。 ・本校校内(生徒・保護者・職員等)⇒ポスター掲示・文書の配布等。 ・地域協力者⇒本校担当者との直接連絡。
コメント	<p>※近隣4小学校(八王子市立松枝小、陶鎔小、檜原小、川口小)との連携(異年齢交流と地域連携)。</p> <p>※告知時期・方法は回収先によって異なります。</p>

《回収》

回収期間	12月20日(木)～1月31日(木)/予定
回収方法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校児童/保護者/教員⇒学級、昇降口、廊下等へ回収箱(飾りつき)を設置。 ・地域の老人介護施設⇒回収方法は施設側に一任(回収後に本校まで届けていただく)。 ・本校校内(生徒・保護者・職員等)⇒校内に回収箱を設置。 ・地域協力者⇒回収期間内に本校まで直接ご持参いただくか郵送(宅配便)を依頼済み。
コメント	※回収期間・方法は回収先によって異なります。

《全体の感想》

※手探り、泥縄状態でのスタートではありましたが、近隣小学校4校との連携体制が整い、本校生徒が直接教室にお邪魔して児童に協力依頼をする機会を得ることができました。これにより、小学校児童との異年齢交流という貴重な機会にも恵まれ、11月以降は各クラス(各班)が担当小学校(担当学年・学級)ごとに分かりやすいプレゼンを行うための準備(プレゼン原稿・ポスター制作・回収箱の製作等)に追われています。12月20日(木)の訪問に向け、目下追い込み作業中です。

※生徒が予想以上に熱心に取り組んでくれており、正直驚いているというのが担当者の感想です。地域を巻き込んだかたちで実施できる「八王子北高校、服のちからプロジェクト」が本校の今後の「奉仕」のひとつの流れになればと考えています。今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。

平成24年度 第1学年「奉仕(総合的な学習の時間)」後期指導計画(10/1訂正版)

月 日	曜	LHR (5時間目)	奉仕/総合 (6時間目)	時数	学校行事	奉仕(総合的な学習の時間) 活動内容
考査後(夏休み)		第10回		4	1学期計 20時間	身近な職業調べ(取材+ポスター製作)
9月5日	水	文化祭準備				
9月7・8日					文化祭	
9月12日	水	文化祭の感想文	第11回	1		2学期の奉仕と防災宿泊訓練について
9月19日	水	2年次必選説明会(全体)	第12回	1		防災宿泊研修準備&VTR(仕事ハッケン伝)
9月26日	水		第13回	1		防災宿泊研修準備&VTR(仕事ハッケン伝)
9月28日	金	第14回		2	防災宿泊研修	⑤⑥講演(災害関係)・講習(救急関係)/100人ずつ交代で
10月3日	水	生徒会役員選挙(立会い 演説会・投票)	第15回		生徒会役員選挙	防災宿泊研修振り返り/感想文
10月10日	水	第15回(ユニクロ&J-FUNユースによるオリエンテーション)		2		服のちからプロジェクト(1)オリエンテーション①
10月17日	水		第16回	1		服ちかP(2)オリエンテーション②
10月23~26日					中間考査	
10月31日	水		第17回	1		服ちかP(3)VTR鑑賞(鈴木亜美×アパレル業界)
11月7日	水	生徒総会			生徒総会	
11月14日	水		第18回	1		服ちかP(4)担当小学校の決定&班編成
11月21日	水		第19回	1		服ちかP(5)訪問準備①
11月28日	水	第20回		2		服ちかP(6)訪問準備②
12月4日~7日					期末考査	
12月12日	水	第21回		2		AED講習会(国士舘大学)
12月19日		第22回		2		進路ガイダンス(卒業生)
考査後		第23回		12	2学期計 29時間	服ちかP(7)小学校訪問(準備含む)
1月9日	水	合唱練習	第24回	1		服ちかP(8)小学校訪問振り返り
1月16日	水	第25回		2		服ちかP(9)衣類とダンボールの回収(各小学校へ)
1月23日	水	合唱練習	第26回	1	卒業考査	服ちかP(10)衣類選別・梱包作業(各クラス)
1月30日	水	合唱練習	第27回	1		服ちかP(11)小学校お礼用ポスター制作
2月6日	水				マラソン大会	
2月13日	水	合唱練習	第28回	1		服ちかP(12)校内用ポスター制作②
2月14日~15日		合唱練習	第29回	1	2学年修学旅行	服ちかP(13)校内回収作業
2月16日		合唱練習	第30回	1		服ちかP(14)選別梱包作業
2月20日	水	合唱練習	第31回	1		服ちかP(15)まとめ(振り返り)
2月27日	水	合唱練習				
3月4日~7日	水				学年末考査	
考査後		合唱祭			3学期計 9時間	
				合計	58時間	

※「奉仕(服のちからプロジェクト)」で訪問予定の小学校は、松枝小・檜原小・川口小・陶鎔小の4校です(12/20に訪問予定)。

※3学期に、衣料品の校内回収(生徒・教員)を行います。ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

八王子市立松枝小学校
保護者のみなさまへ

東京都立八王子北高等学校
学校長 須貝 徳成

「八王子北高校、服のちからプロジェクト」へのご協力をお願い

年末の忙しい季節となりました。松枝小学校の保護者のみなさまにおかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また日ごろは、本校の教育活動に格段のご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。

さて、本校第 1 学年では、教科「奉仕」の授業の一環といたしまして、この 11 月より社会貢献（国際貢献）をねらいとした「八王子北高校、服のちからプロジェクト」に取り組んでおります。

本プロジェクトの概要は、本校関係者や地域のみなさまから不要となった衣料品を回収させていただき、それを株式会社ファーストリテアリング（ユニクロ）CSR 部、および国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）のご協力により、衣服の購入もままならない海外の難民（避難民）キャンプの方々へお届けし役立てていただくというものです。

つきましては、ご家庭に眠っておられる不要の衣料品（子ども用、大人用）がございましたら、ぜひとも本プロジェクトにご提供いただきたく何卒宜しくお願い申し上げます。

なお、松枝小学校様より、来る 12 月 20 日(木)に本校生徒が 1 年生から 6 年生までの各教室にお邪魔して本プロジェクトに関する説明をさせていただきことをお許しいただいております。児童のみなさまに本プロジェクトについてできる限り分かりやすくお話しさせていただけるよう、目下準備を進めております。保護者のみなさまのご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。また、衣料品回収に関する詳細につきましては、下記をご参照いただければ幸いに存じます。以上、何卒宜しくお願い申し上げます。

－ 記 －

- <回収対象の衣料品> 洗濯済みの大人用衣服上下および子ども用衣服上下(幼児用含む)
例)セーター・スラックス・Yシャツ・カジュアルシャツ・フリース上/下・
ブレザー(制服可)・スカート・ワンピース・オーバー(コート)類・ジャージ(スウェット)上/下・パーカー・ジャンパー・トレーナー・ポロシャツ等
- <回収対象外のもの> ①**衣服以外のもの**（下着・靴下・マフラー・ストール・手袋・帽子・靴・サンダル・バッグ・ベルト等は**回収対象外**です)。
②衣服であっても汚れや破損がみられるもの（シミが目立つもの、擦り切れのあるもの、毛玉が多いもの、黄ばみがひどいもの、異臭や悪臭のあるもの）、その他二次使用に耐えないもの。 ※衣服が人の尊厳や人格を保つために大切な役割を担うことをふまえ、支援物資として適当かどうかをご判断いただければ幸いに存じます（UNHCR 資料より引用）。
- <回収日と回収場所> 平成 24 年 12 月 21 日(金), 25 日(火), 平成 25 年 1 月 8 日(火), 9 日(水), 10 日(木), 11 日(金), 15 日(火)の計 7 日間。12 月 20 日(木)の教室訪問の際に衣服回収箱を貴校昇降口内に置かせていただきます。衣服回収箱は 1 月 16 日(水)午後に本校生徒が貴校まで回収に伺います。
- <問い合わせ先> 東京都立八王子北高等学校 第 1 学年主任 土方敏行（ひじかたとしゆき）
電話 ; 0 4 2 - 6 2 6 - 3 7 8 7 (FAX ; 0 4 2 - 6 2 7 - 0 1 7 4)



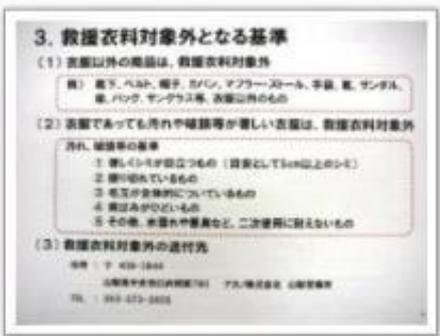
選別 1



選別 3



選別 4



選別 5



選別 6



選別 7



選別 8

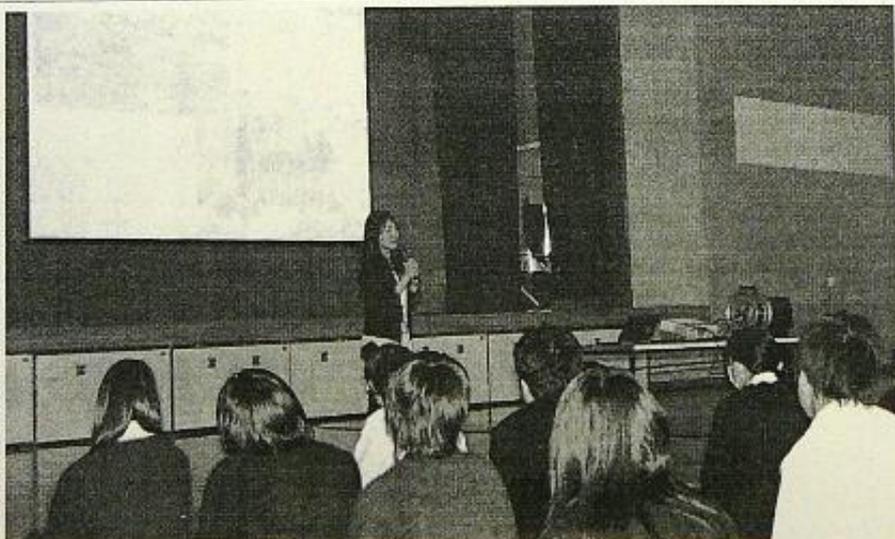
1年生に説明会

ユニクロのリサイクル活動 八王子北高が参加

都立八王子北高校
(八王子市檜原町)で
10日、カジュアル衣料
大手「ユニクロ」が進
めるリサイクル活動の
説明会があり、1年生
約200人が熱心に耳
を傾けた。

ユニクロを展開する
ファーストリテイリン
グ(港区)は06年から
自社商品を回収し、難
民キャンプなどに送
る活動を続けている。
09年から都内の高校
と協力、今年は全国約
35の小中高校に拡大し
た。

説明会では同社CS
R部の鈴木翔子さん
(27)が難民キャンプの
映像などを見せ、服が
足りない発展途上国の
現状を説明。「捨てれ



ファーストリテイリング社員による説明を聞く生徒
たち(八王子市檜原町の八王子北高校で)

ばごみだが、リサイク
ルすれば誰かの役に立
つ」と話した。

八王子北高では今月
から同社のリサイクル
活動に参加。今後は必
修科目の「奉仕」の時
間に、服の回収を呼び
掛けるポスター類を作
り、近隣の学校などで

配布する。12月ごろに
衣類を回収し、分別や
梱包にも取り組む。対
象商品はユニクロ製品
に限らないという。

久保淳副校長は「活
動を通じて地域と関わ
り、社会貢献を学んで
ほしい」と話した。

【藤沢美由紀】

最終結果報告

2012/2/15

重量 箱数

①	②	③	箱数	重量(kg)
子ども (キッズ) (ヘビー)	春夏(SS)		12.5	255
	秋冬(FW)		15.5	266
男性 (メンズ)	春夏 (SS)	上	2.5	42
		下	1.5	26
	秋冬 (FW)	上	9.5	159
		下	2.5	50
女性 (ウイメンズ)	春夏 (SS)	上	4	81
		下	2	45
	秋冬 (FW)	上	13.5	221
		下	2.5	51
対象外(リサイクル生地)			2	34
合計			68箱	1230kg

total		
255	12.5	12
266	15.5	15
42	2.5	2
26	1.5	1
159	9.5	7
50	2.5	2
81	4	4
45	2	2
221	13.5	12
51	2.5	2
34	2	1
1230	68	
kg	箱	

2/13計量
子ども10kg
大人94kg
対象外18kg

★お疲れさまでした！

～ 小学校訪問お疲れ様でした ～

小学生へのプレゼンテーションいかがでしたか？



「人に何かを伝える」簡単そうで難しく、難しくそうで簡単。きっと、その思いや情熱の大きさと伝わり方が決まるのではないのでしょうか。今回のプロジェクトは皆さんの「真心」がとても大切なのは・・・

A組<男子01>二ヶ月前から取り組み始めた「服のちからプロジェクト」。はじめはまったく興味も意欲もわかなかったのですが、説明会でユニクロのがから「服を1枚着るだけでも清気を防ぐことができる」などのお話を聞いてからは、これは決して人ごとじゃないんだと感ずることができました。自分たちで決めた服で、いざやりはじめたもの、男子と女子の間には大きな隔りがありました。自分たち男子は回収箱の作成やイラストなどの担当でしたが、ふざけてばかりでまったく作業が進まず、後半はほとんど女子任せになってしまいました。なので、女子が怒るのも無理はなかったと思います。でも、訪問先では小学生に高校生らしさを見せられる発表になってほっとしました。自分は子どもが好きなもので、小学校に行くとき聞いたときはすごくやる気が出たのに、準備中はふざけてばかりだったので、今後は全力で取り組みたいと思います。

<女子01>私たちは、12月20日の小学校訪問のために、一ヶ月ほど前から準備をしてきました。私たちの班の担当は4年2組でした。回収箱を作るときに、「4年生の子どもたちはどんなデザインを喜ぶのだろうか？」とか「どんな言葉で説明したら分かりやすいだろうか？」など、いろいろ考えました。そしていよいよ箱作りが始まりました。箱は私を入れて女子3人で作りました。みんなが喜んでくれそうなかわいいデザインにしました。発表用原稿もポスターもみんなで作りました。そして本番の日。私たちの説明を子どもたちはしっかり聞いてくれました。少し早口だったので早く終わってしまいましたが、自分たちのちからで廃民の方々が喜ぶということをはきちんと伝えられたと思います。今回、とてもよい経験がすることができて本当によかったと思いました。

<女子02>「服のちからプロジェクト」では、まず最初に班分けをして、これからどんな風に進めていこうかをみんなで相談しました。私たちの班は、カイロを使って服の重要性を分かりやすく説明することになりました。いちばん大変だったのは、回収箱のダンボールに絵を描くことでした。私は絵を描くのがとても苦手で不安に思いましたが、みんなに手伝ってもらってなんとか描き上げることができました。そして今日、隣校小学校に行ってきました。私たちの班は4年生担当でした。はじめはちゃんとやれるか心配でしたが、班のみんなと協力してうまく説明することができました。子どもたちも、こちらの問いかけにちゃんと反応してくれて、楽しそうに笑ったり、真剣に説明を聞いてくれたりしたので本当にうれしく思いました。今回の小学校訪問は、私たちにとってとても貴重な経験となりました。

B組<男子02>私は今回の「服のちからプロジェクト」について、とても自分のためになったと思うことがいくつかあります。1つ目は、服の大切さについてです。世界には、食べ物も服も十分でない廃民の人々が約3600万人もいることを知りました。最初は服がないと寒い、恥ずかしいのたなまと思っていましたが、この取り組みを知り、服は清気を防ぐことができるということがわかりました。清気を防ぐことができれば、それが原因で死んでしまう人が減るので、服をたくさん廃民の人々に届けたいという気持ちになりました。この取り組みを通して、自分のやれることをやっていきたいと思います。2つ目は、自分より年が下の子どもたちにもどう分りやすく服の大切さについて伝えるかということです。私達はあまり難しい言葉を使わないようにし、こちらから質問したりするということにしました。そうすると、ちゃんと小学校4年生にもうまく伝えられました。こうした機会があってよかったと終わって思いました。

<女子03> 私は、祐原小学校6年2組に行きました。6年生だけ、まだ小学生なので話を聞いてくれるか、逆に反応がなかったらどうしようかと不安でした。教室に入ると、生徒たちはもう座っていました。そして、「こんにちは」と言う全員が元気に返事をしてくれたので少し安心しました。説明を始めると、全員真剣に話を聞いてくれました。全員こっちを見ているので、少し緊張してしまい、覚えたセリフが少しとんでしまいました。けれど、しっかり言うことができました。全て理解はできなかったと思うけど、伝えたいことはしっかり伝えられました。発表が終わった後は、クイズをしました。練習の時よりも時間が余りすぎてしまったので質問の時間を作りました。服のちからプロジェクトのことを聞いてくれたり、高校のことや部活のことを聞いてくれたり、たくさん質問してくれました。時間を忘れてしまう程楽しかったです。教室を出るときに拍手で送ってくれて嬉しかったです。今回の小学校訪問は、準備がとても大変でしたが、とても充実していたんじゃないかと思えます。生徒の皆さんもしっかり聞いてくれたし、参観料すこともない小学生と話ができて楽しかったです。発表の時間が長くなりすぎて先生に迷惑をかけてしまったかもしれないけど、もし機会があれば、また、祐原小学校の皆さんと遊んだりしたいなと思いました。

C組<男子03> 川口小学校に行って廃民の人々のための「服のカプロジェクト」の宣伝と協力をお願いしてきた。(中略)作業中、まず自分が取り組んだのが、小学生に発表する上で最も重要な説明文の製作でした。土方先生の優しい言葉で作られた説明文のプリントを元に小学生用にわかりやすい説明文にするには発行経路の連絡でした。他のメンバーはポスターのイラストやダンボールの表紙のイラストを考えたり、描いたりしてくれました。またまだ未完成の中でやったリハーサルでは、他のチームの発表を見ているとほぼすべての班に「ここまでやってまだ5-6分残っているのか」という驚きが当てはまっていて、自分たちの班は5分前で最後のタイムだったので、より一層焦りが増えました。どうしようもない時間の短さの中で最後の最後まで居残りして何とか終わって安心しました。

川口小学校での発表当日は、担当の5年2組に入るまでは調整でしたが、緊張しやすく、人見知りの自分はしゃべり始めてから、言葉がうまく出てこなかったり、つまったりして大変でした。しかし小学生の皆さんはクイズのコーナーや質問、説明に積極的に参加してしゃべってくれてありがたかったです。その中で自分たちも知らなかったマリアを知っている男の子がいたことに気づきました。

川口小学校での発表が終わった今では、川口小学校の児童たちがたくさん服を持ってきてくれることを楽しみに祈っています。廃民の人々のためにもこの「服のカプロジェクト」を成功させたいです。

女性
春夏トップス

女性秋冬トップス

女性春夏トップス

女性秋冬トップス

女性秋冬トップス

女性秋冬トップス

引越し・収納・宅配・整理など



子ども
秋冬

子ども
秋冬

子ども
春夏

子ども
春夏

